

郷土芸能祭出演リスト

第6回（さつまフェスタでの開催

於：薩摩総合運動公園グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	浅山棒踊り （出演2回目）	神子区 櫃ヶ迫浅山棒踊り保存会	浅山棒踊りは、武士たちの士気高揚のために勧めたものと伝えられており、浅山流の棒術を踊りにしたもので、檜の六尺棒を槍に、三尺棒を刀に見立て、4人1組の踊りで勇壮に舞います。力強い打ち合いによる乾いた音や棒を飛び越える所作が見どころです。 毎年、鶴田小学校の運動会で披露するため、児童に指導を行うなど、保存・伝承に努力しています。
2	轟原鷹踊り （出演2回目）	虎居区 轟原公民会鷹踊り保存会	宮之城島津の殿様が紫尾山麓で鷹狩りをしていた折、餌差し棒の先に餌を付けて鷹にやる仕草を踊りに振付けたことに由来するといわれています。水天神社例祭・霧島神社例祭で踊りを奉納しています。
3	虚無僧踊り	泊野区 泊野虚無僧踊り保存会	楠八重集落に踊り継がれた郷土芸能で、発祥は定かではありませんが、隠密として領主の命を受け、虚無僧となり旅立つ夫と、送る妻の悲壮な別れを人知れず踊ったといわれています。 泊野小学校閉校式では、地区の有志により、僅かの経験者と残った映像を頼りに、34年振りに披露されました。
4	秋津舞 （出演2回目）	白男川区 白男川区秋津舞保存会	島津義弘公の朝鮮への出陣または凱旋を祝って踊ったのが始まりで、農民の士気を鼓舞するために奨励されたといえます。アケスとは秋津蜻蛉（アケストンボ）につながり、蜻蛉の飛ぶような軽快さと、勇壮活発な勇ましい踊りです。 「浅井野公民会の秋津舞」として、その伝統を保ち踊り継がれてきましたが、今回から「白男川区秋津舞保存会」として取り組みます。